

See the invisible

SOPROLIFE

仕様

- 画像解像度：768×494
- 焦点調整：無段階*
- 非反転画像
- 視野角：70°
- ヘッドサイズ：幅13mm×高8mm
- ハンドピース重量：78g

*使用頻度の高い3ヶ所は
予めプリセット済

構成

- ハンドピース本体
- 専用ハンドピースホルダー(1ヶ)
- ハンドピースカバー(10枚)
- 口腔内チップ(4ヶ)

ドッキングステーション



ミニドック USB2

- SOPRO Imaging ソフトウェア CD 付属
- USB 電源タイプ

sopro
imaging

総合画像管理ソフトウェア



- 患者データごとの画像・動画の管理が可能です。
- 口腔内カメラも IP スキャナーも一元管理できます。
- ユーザーフレンドリーで機能的です。
- Windows, Mac の両 OS、院内ネットワークに対応します。

PC インストール最低条件

- OS : Windows 7, 8, 10 Mac OS X 10.6 以上
- CPU : Pentium4 1.5GHz 以上
- メモリ : 1GB 以上
- ビデオカード : 64MB 以上
- モニタ解像度 : 1024×768 以上
- 必要ポート : USB2.0

※ソプロ社のカメラドッキングステーション、PS ピックスをご購入されると
Sopro Imaging ソフトウェアが添付されています。

一般医療機器 医療機器届出番号 27B1X00020221073

The
BLUE
revolution

歯科用口腔内カメラ

ソプロライフ

SOPROLIFE

Light Induced Fluorescence Evaluator

ACTEON

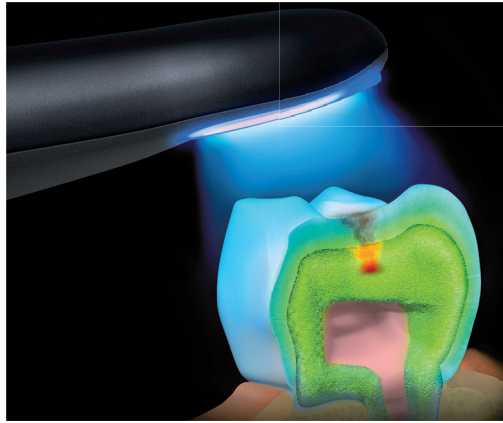
白水貿易株式会社

〒064-0824 札幌市中央区北4条西20丁目2番1号 Nord 420BLD1F ☎(011)616-5814
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 千代田小川町クロス12F ☎(03)5217-4618
 〒464-0075 名古屋市中区千種区山3-10-17 今池セントラルビル2F ☎(052)733-1877
 〒532-0033 大阪市淀川区新高1丁目1番15号 ☎(06)6396-4400
 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-18-30 八重洲博多ビル5F ☎(092)432-4618
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>

2019.03.PO G08 Ver.1.1.1

ACTEON

モードⅠ カリエス視認化 モード



カメラレンズ両側に配置された4つの専用LEDにより450nmの青い光を発光させ、歯牙の象牙質を励起し蛍光発光させます(左図参照)。この蛍光発光を観察することでカリエスを視認化することが可能になります。

通常、健康な象牙質であれば緑色の蛍光発光が画面上で確認できます。それに対してカリエスなど象牙質が感染すると、感染の度合いに応じてオレンジ、赤などの異色の発光を行います。ただし、象牙質はエナメル質に覆われているためエナメル質の厚みへの配慮が必要になります。エナメル質が厚い場合(例えば、犬歯など)は白色に発色し象牙質の感染状態の確認が難しくなります。

また、咬合面の裂溝などに沈着物が付着している場合も、同様にオレンジ、赤などの発光をするため注意が必要です。観察前に必ずクリーニングを行うことが必要です。



図1
デilightモードにて通常撮影された臼歯部

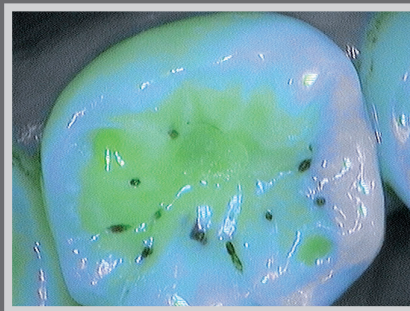
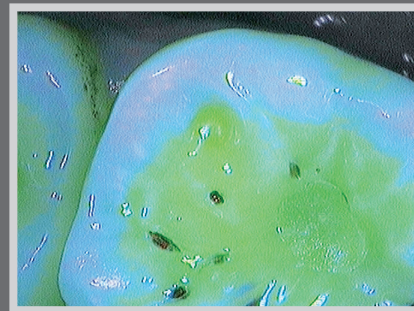


図2および図3
モードⅠにて蛍光観察された臼歯部。図1のデilightモードと同様に咬合面に初期のう蝕が観察されるが、より鮮明に表示されている。また、エナメル部はその厚みのための象牙質まで青色ライトが到達できず、白色に発色している。



モードⅡ カリエス強調表示 モード

カリエス強調表示モードでは、モードⅠの蛍光性の一部の波長を強調表示することで感染部をより鮮明に表示することが可能となります。画面上での青色の度合いを弱め、赤色をより強調する表示設定となっています。

モードⅠにてカリエスなど感染部の確認を行った場合、開孔し、象牙質への感染度合いを確認しますが、感染部をどの程度開孔するかは目視では判断を迷うところです。モードⅡにて観察することで感染部の残留を画面上で視認することが可能となります。この作業を繰り返すことで確実な治療を進めることが可能となります。

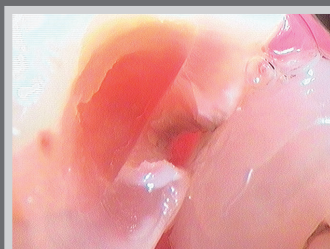


図4
デilightモードでは感染の度合いを視認するのが難しい。

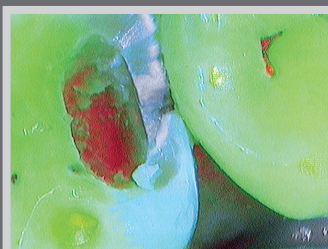


図5
モードⅡにて観察することで、象牙質感染部が赤く強調表示される。

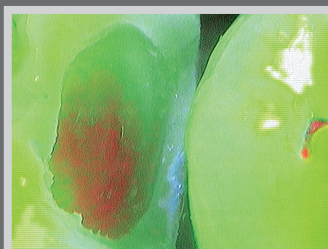


図6
少し多めに切削を行ったがまだ感染部が確認できる。

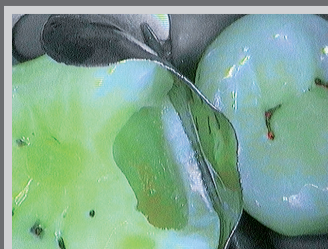
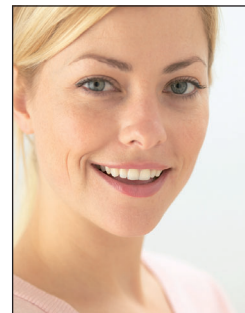


図7
感染部の除去が完了したため、充填作業を行う。

デilight モード

ライトを4灯の白色LEDに切り替えることにより、通常の口腔内カメラとして使用することができます。ソプロライフにはソプロ社の717シリーズ口腔内カメラと同じ光学機構が内蔵されており、人物全体をカバーできるポートレートから約1mmのマクロまでの非常に広い範囲で無段階にピント調整をすることが可能です(よく使う領域3箇所はプリセット済)。また、カメラヘッドにプリズムを内蔵することにより、ヘッドサイズのコンパクト化を達成し、ストレスの無い撮影を可能としています。



ポートレート



スマイル



口腔内



マクロ

